

真田地域消費生活展で 楽しみながら考える「食」

長野農政事務所地域第三課は、1月30日に上田市の真田公民館で開かれた「第26回真田地域消費生活展」に参加して、食料自給率向上や農業に関するパネルを展示するとともに、ゲームや食農クイズに挑戦していただき、楽しみながら『食』を考える機会を提供しました。



旧「真田町」当時から町民一丸となった惟しで、本年もたいへん賑わい来場者は300人を超えました。小学校4校と中学校1校が、学習内容を発表する場にもなっていて、子どもたちのステージ発表が、場内を盛り上げていました。

また、新たな試みとしてスタンプラリーが設けられ、満遍なくすべてのブースを見ていただける工夫も凝らされていました。



“牛・豚・鶏パズル”(写真上と右中)は、小さな子どもたちに人気があり、お母さんと微笑ましく完成させていました。中には「出来ないと免許返上しなくては！」と叫びながらの挑戦した栄養士の方もいらっしゃいました。

“お箸名人ゲーム”は、挑戦者が途切れることなく大盛況でした。漆塗りの箸で大豆を隣のお皿(写真下の左)に運ぶため、つるつる滑ってジレンマに襲われる方やプレッシャーを感じながらも数多く運ぶご年配の方もいらっしゃいました。

“パソコンクイズ”(写真下の右)は中学生以上に人気があり、難問をクリアした時は「やったー！」と満足げでした。

ブースの壁には、食料や農業に関するパネルを多数展示しました。



長野農政事務所地域第三課